

# 道教組

2019年12月26日発行

DOKYOSO NEWS VOL.564

教職員とその家族を守る  
全教自動車保険

## 5つの特徴

- ①無事故割引を引き継げます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78  
TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472



新保副委員長が、とりくみの経過を報告

12月14日に、教育全国署名北海道集約集会を開催しました。今回は、変形労働導入反対緊急シンポジウムと合わせての開催となったこともあり、会場いっぱい、75名もの参加者が集まりました。

集会までに道教組が集約した署名は9882筆です。手元はまだ未集約の署名がありましたら、道教組まで送ってください。

**集約集会に75名もの参加者  
道教組は9882筆を集約**

**教育全国署名北海道集約集会  
北海道連絡会・私学合わせて  
80022筆の署名を集約**

**全釧路の釜沼書記長が、  
とりくみの様子を報告**

集会では、道教組、高教組、新婦人の各団体から1名ずつ、とりくみの様子を報告・交流しました。道教組からは全釧路の釜沼書記長が報告しました。

釧路では、全釧路・根室教組・高教組釧路支部の3教組合同で、9月18日に教育全国署名がんばろう集会を開催。集会では、署名活動の歴史を学習し、その成果や意義を改めて確かめ合った。

集会後の街頭署名活動は、例年は釧路駅前で行われていたが、今年はコープさっぽろの店舗内で実施できた。短時間でも、驚くほどの署名を集めることができた。

組合員には、職場での署名をやりきることを提案した。各地の図書館にもお願いして回ったが、個人情報である住



全国集会では、389万8834筆を集約

**教育署名全国集約集会には  
389万8834筆を集約**

12月6日に東京で行われた全国集約集会には、新保副委員長が参加しました。全国各地のとりくみや成果を交流しました。

**紹介議員に、道議20名、  
国会議員も4名が承諾**

教育全国署名の紹介議員として、道会議員20名の承諾を得ることができました。選挙で入れ替わりがあったため、昨年より人数は減りましたが、結志の会と共産党は全員が紹介議員を承諾しました。道内選出の国会議員も、立憲、国民、共産の4名が紹介議員を承諾しています。

所が見える署名を公共施設でとりくむことの難しさも分かった。

# 全道各地で組合づくり学習会を開催

## つながりを豊かに、組合づくりへ 「仲間」を増やすとりくみを

### 根室教組（11月28日）

中央委員会終了後に、組合づくり学習会を開催しました。内藤副委員長を講師に、『仲間』を増やしていくということを考え合いました。組合づくりや組合の存在意義、どこが大事なのか話し合い、今までの不安を話すことについて整理しながら、今後のとりくみについて考えました。

参加者からは、「今までできてきた道へちよっとふみこんでみようかと思いました」「会話を持つ時間を職場の仲間を持ちたい」「前向きでプラス思考でいいなと思いました」「こういう話になるとは夢にも思わず、たいへんおもしろかったです」と、前向きな感想が相次ぎました。



### 檜山教組（11月28日）

評議員会のあと、「今の想いを語る会」

を開催しました。4〜5人のグループに分かれて、日頃の苦労や思い、感じていることを率直に語り合いました。

「学校から個性が失われていることに危機感を持つ」「教師にも子どもにも辛い状況」など、学校の現状への思いを交流するとともに、組合についても「子どもや父母・地域を大事にしても「子ね」「当たり前」のことを思い出させてくれる」と、それぞれの組合との関わりが語られました。



### 宗谷教組（11月29日）

支部代表者会議に合わせて、上川教組の中村徹委員長、中村哲也書記長を講師に、COの手法を活用した学習会を開催しました。小グループに分かれ、それぞれの組合づくりへの思いを率直

に語り合ったあと、この間の組織拡大のとりくみを振り返りながら、春の組織拡大のとりくみについてタイムライン（創造的な戦略）を作成しました。語り合うことで、次第に前向きに、元気になっていきました。

参加者の感想には「組合の1人として何ができるのか考えることができた」「組合のよさが分かってきた」「組合活動を見直す上でもこういう学習が必要」など前向きな言葉が多く並びました。

みんなで声を出し合うことのよさを実感し、組合のよさを改めて確かめ合う場となりました。



### 全教いぶり・日高連絡会共催（11月29日）

10月の単組代表者会議に合わせて実施された組合づくり学習会の内容をもちに、2組織の共催で行われました。



内藤副委員長を講師に、宗谷での組織拡大の事例も学びながら、組合づくりについて確かめました。

参加者からは「やはり人を動かすには『対話』が大切なんだということが改めてわかりました」「様々な手法で実践してみることが大事」「コミュニケーションが大切と再確認できた」との感想がありました。

## 西胆振で、変形労働制導入、「改正」給特法の学習・交流会

12月21日に、西胆振で、「1年単位の変形労働時間制の教員への適用どうなる？どうする？」学習会が行われました。全教いぶりの組合員も学習会の運営に関わり、教員、退職教員、市民、議員など、20人以上が参加しました。道高教組菱木書記長を講師に、変形労働制導入を可能とする「改正」給特法の問題点を学習しました。

変形労働制を導入しても、労働時間の短縮にはつながりません。

北海道に条例策定させず、業務量の削減と教員の増員を求める運動を進めることを確認しました。

